

和地域づくりの会 会報

第12号

和地域づくりの会
事務局
和コミュニティセンター
東御市和 2628
TEL/FAX:62-0201

和地域づくりの会が
目指す
和地区の将来像

- ❖ 若者や子育てしている世代が幸せを感じられる地区
若者が定住し、結婚・出産・子育てがしやすいまちづくりを目指します
- ❖ 観光と農業・農村が共存共栄できる地区
農業や景観などの地域資源を活用したまちづくりを目指します
- ❖ 多様な世代が運営を支え、郷土愛を持てる地区
伝統行事、近所づきあい、支え合いが盛んなまちづくりを目指します



一年、時の過ぎるのは瞬きするごとき。終息見えぬコロナ禍で生活様式も考え方も変えざるを得ない中、和地域づくりの会の年間計画も一部中止もありましたが、感染防止策を取り、出来る限り進めて参りました。

大切な事は集まりの中で皆さんの顔が見える事、コミュニケーションがあり信頼が強まる事だと思います。

本年度、一つの大きな事業、空き家対策で移住体験施設(旧教員住宅一部改修)の活用が市のモデル施設として運用されることになりました。

地域おこし協力隊員の専属も決まり12月より配置されました。活気ある地域としてまた地区外からの関係人口、移住希望者の支援など、一段と協力体制が問われることに成りました。

地域づくりの会の委員だけでなく地域の皆さんからの協力で地域ビジョンの実現を目指して行きたいと思えます。

地域づくり懇談会開催

10月20日(木)和地域づくりの会役員、和地区区長会及び一般の皆様が参加し、地域と市が地域課題を理解・共有し、それぞれが、地域ビジョンの推進、実現に向けて何を行えば良いか考え、さらにより良い協働関係を築いていくことを目的に「和地区地域づくり懇談会」が開催されました。

和地域づくりの会からは「移住体験施設の活用」「見玉山遊歩道整備」「旧和學校記念館周辺の環境整備」の三つのテーマについて、地域で取り組めること、行政の支援を要すること、市との協働で取り組む事に細分化した要望をし、市からはそれぞれに対し提案をいただきました。

早速、12月8日に合同専門部会を開き、三つの部会別に今後の進め方について協議しました。



何かと大変なこともありますが、市との協働で出来ることから一歩進めていくことでより良い和地区に近づければと考えております。

和地区新春書き初め大会開催

新春を迎えた1月4日(水)和コミュニティセンターにて、「和地区新春書き初め大会」を開催しました。書き初めの起源は古く、平安時代の宮中行事である「吉書始め」だと言われ、世間一般的な行事になるのは江戸時代からとか。

書き初めを書いたあとは「どんど焼き」で燃やし、一年の無病息災を願い、紙が高く舞い上がれば字が上達する謂れがあるそうです。

さて、当日は、和小学校の3年生(6年生の事前申し込みされた児童22名が参加し、高橋麦宇先生の指導の元、実施されました。

子ども達は一生懸命に課題の文字に挑戦し、何枚か書くうちに段々うまくなっていくのが分かりました。

今年はコロナ禍の中でしたが、参加された児童そして関係者の皆様、新年早々ありがとうございます。

(和地区育成会長会・子育て教育文化部会共催)



ハッピーハロウィン

10月31日、今年もかわいい和保育園の子供たちがそれぞれ仮装して来館しました。あちこちから「トリック・オア・トリート」の声が聞こえ癒された一日となりました。ハロウィンのイベントも浸透してきましたね。



編集後記

会報12号を発行することができました。令和4年度の事業を特集しました。

和地域づくりの会 広報委員会
電話 62-0201



**旧和学校記念館
環境整備実施**

部会の活動として湯楽里ロードと小学校の花壇整備、旧和学校記念館の草刈りを行っております。

花壇につきましては地域の皆様の癒しになればと花植え、水やりを行ってまいりました。

旧和学校記念館の環境整備は県宝である文化財をより皆様に足を運んでいただける場所になるよう取り組んでまいります。

今後も地域振興の為、尽力してまいりますのでよろしくお願い致します。

(地域振興部会 部会長 山岸公宣)



**和地区の
健康状況を学ぶ**

「和地区の健康状況を学ぶ」学習会が和コミュニティセンターで12月14日開催されました。

岡田真平講師から、コロナ禍で外出して運動する機会が減り、糖尿病等の生活習慣病の比率が増加しているなどの説明と、楽しく出来る簡単な体操などを教えて頂きました。

自らの健康を守る為必ず定期検査を受けて、適度な運動を行い感染の重症化を抑止して頂きたいと感じました。

(生活福祉部会 部会長 中村至)

和小学校3年竹組「竹馬づくり」に挑戦

昨年10月12日に和小学校校庭において、地域づくりの会・田中会長の指導のもとに会員6人がお手伝いし、3年竹組29人(担任沖浦先生)と「竹馬づくり」を実施しました。

一番大変だったことは、足を置く木と竹に固定する紐の縛り方でした。

何とか竹馬が完成し、その後子供達が悪戦苦闘して竹馬を乗り熟し歓声を上げた姿を見た時、私は子供達にとって一生の思い出になるだろうと嬉しく思いました。

(子育て教育文化部会 部会長 横山榮二)

和地区分館長会
会長 庄村茂 挨拶

新型コロナウイルス収束の兆しが見えない中でのスタートでした。今年こそは「球技大会の開催を」の微かな希望も虚しく、今年も中止の決定に落胆された方も多かったと思います。

そんな中、「ふれあい文化祭」を開催することが出来たことは、望外の喜びでした。

飲食の催しは中止し、作品展示を中心とした文化祭でしたが、和保育園・和小学校の子供達の作品を始め、生涯学習講座受講生、各地区の方々より多くの出品をしていただき、ここにお礼申しあげます。

また「竹内不忘先生を顕彰する会」の皆様のご尽力により、先生の作品展を同時開催することができ、例年より多くの来館者を迎えました。ありがとうございます。

来年度こそは、全ての事業の開催を望みます。



フラワーアレンジ講座



和小学校児童作品



かわいい抱き人形講座



書道入門講座



竹内不忘作品



竹内不忘作品

和地区ふれあい文化祭・竹内不忘作品展同時開催